記者発表資料

平成30年8月23日

村山･置賜地区災害情報普及協議会

地域防災力を高めて「逃げ遅れゼロ」！

～まるごとまちごとハザードマップ作成から・現地標識設置・訓練の実施～

平成29年1月の最上川浸水想定区域公表(想定し得る最大規模の降雨)に伴う、浸水区域に対応した『まるごとまちごとハザードマップ』の取組みを長井市館町南及び館町北地区で実施します。

今回、館町南及び館町北自治会の住民を対象に説明会を開催します。

１．開催日時　　平成３０年８月２４日（金）１８：３０～１９：３０
２．開催場所　　長井市館町自治公民館（約40名出席予定）
３．内 容 等　　今後のスケジュール等
まるごとまちごとハザードマップ概要
主旨説明
４．取　　材　　会場での受付後、撮影は随時可能とします。

➢ 村山・置賜地区災害情報普及協議会

災害に関する情報の普及を支援するため、関係機関同士が効率的かつ一体的に情報共有し、災害時の連携を強化する組織です。

〈発表記者会〉　山形県政記者クラブ、 米沢記者倶楽部

問い合わせ先

（村山・置賜地区災害情報普及協議会事務局）
東北地方整備局　山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目３番５５号
ＴＥＬ　０２３－６８８－８９３３(直通)
調査第一課長　　栗 田　政 芳（内351）

国土交通省

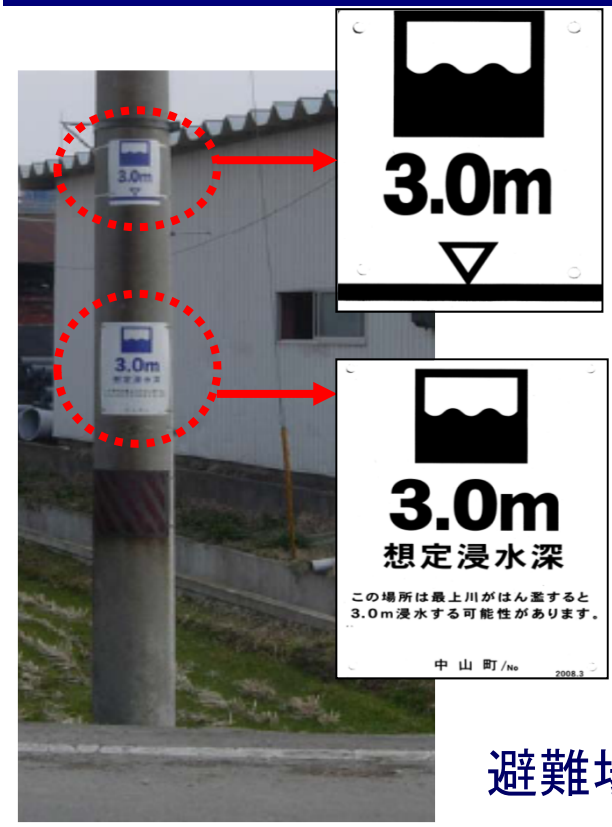
長井市　総務課
長井市ままの上５番１号
ＴＥＬ　０２３８―８４－２１１１（代表）
長井市 総務課長　小 関　浩 幸

「まるごとまちごとハザードマップ」とは

①住民、自分たちの手で「洪水ハザードマップ」に書かれている浸水エリア、浸水の高さ、避難所までのルートを把握。

②地図に書き込み、実際歩いて見て「どのタイミング」で「誰を道連れに」どの「ルート」で「どこに避難」するか予め考え訓練しておくもの。

町を まるごと ハザードマップに見立てる





避難場所、避難ルートに案内看板を設置



1. 検討会



2. まち歩き



3. 看板の設置

前回H19との違い：

想定浸水深を求める降雨が変わりました

従前：河川整備の基本となる計画規模雨量

今回：想定最大規模の降雨